

第1664回 2014.11.25

2014-2015

LIGHT UP ROTARY

半田南ロータリークラブ ●創立：1980.2.12 ●認証：1980.2.25

■会長／榊原 肇 ■幹事／岩部 雅人 ■例会／毎週火曜日 半田商工会議所
愛知県半田市銀座本町1の1(半田商工会議所内) TEL.(0569)21-0324 FAX.(0569)23-4546



- 司 会 S. A. A 杉山 知子君
- ソングリーダー 杉山 知子君
- ロータリーソング 「手に手つないで」
「四つのテスト」
- ピアノ 中田美由紀さん

会長挨拶

会 長 榊原 肇君



「会員増強：今こそ行動のとき」のウェビナーは5回にわたる会員増強ウェビナーシリーズの第1回としてビデオにて紹介されました。

ロータリーの会員基盤の現状です。会員基盤はロータリー全体にどのような影響をもたらすのでしょうか。会員が増えればそれだけ多くのアイデアがもたらされ、幅広い奉仕活動を行い、ネットワークを拡げることができます。またロータリーの寄付者ベースの大半は会員です。会員数が減れば寄付者の数も減ります。つまり一人あたりの寄付額を増やさないとこれまでと同じレベルのプログラムと活動を行うことができなくなり、さらに活動の幅を広げることは非常に困難となるでしょう。ロータリーのプログラムと奉仕活動にかかる資金はご寄付によって支えられています。この資金が不足した場合、活動の数や質が低下しそれが公共イメージの低下にもつながる可能性があります。公共イメージが低下すると、ロータリークラブ入会への関心も低くなり、会員がさらに減少するという悪循環に陥ります。他にも、国際理解・親善・奉仕といったロータリーの価値観を多くの人々、特に次世代に引き継いでいくことも大切な理由です。2014年6月30日現在、全世界のロータリー会員数は1,207,000人です。過去10年間の会員数の推移を見ても、アフリカ、南アメリカ、インドなど増えている地域、ヨーロッパのような横ばいの地域、北アメリカ、オーストラリア、日本など減っている地域と、各地域での傾向に違いがあります。ロータリー会員の年齢の内訳は、50歳以上の会員が70%、40歳以上の会員が90%を占めています。これは

深刻な数字です。ロータリー会員は次世代にロータリーを引き継いでいく方法を真剣に考える必要があります。ロータリーが行った調査で分かった一般の人々のロータリーに対するイメージは、ローカル、グッド、コミュニティとあります。これは地域に根付いてよいことをしているというポジティブな意味を持つことばです。一方、年配を意味するオールド、男性中心を意味するモストリイ・メン、秘密主義を意味するセクレティなどネガティブなことばも見られます。これらは入会の促進やロータリーのイメージ向上におけるネックとなっています。

会員制組織が抱える課題について今回はコンサルティング会社MC Iグループのグローバル担当部長のニキ・ウォーカーさんがアドバイスを紹介してくれました。決まりきった従来の考え方を捨て、これまでとは違う視点で考えることを薦めています。特にロータリーのように100年以上前に設立された組織となると、設立当初の世界と今の世界は大きくかけ離れています。時代に即した変化が必要だと指摘しています。50代以上の人は、顔を合わせて会うという従来のコミュニケーションの様式に慣れています。一方で、今はカスタマイゼーションの時代といわれ、誰もが欲しいものを自由に選べるようになりました。特に若い世代は何でも自分流にカスタマイズします。ロータリーのウェブサイトにもマイ・ロータリーというセクションがあります。企業もマイ何々をつくセクションをつくるホームページが多くなりました。入会することによって自分にどんなメリットがあるのか、そこから何が得られるのかをまず考えます。課題の1つに顔を合わせて交流し学びあい、ネットワークを拡げるという従来型モデルで運営されていることがあります。現代の世界では1日24時間毎日繋がれるのが当たり前となりつつあり、しかも国境のないグローバル化が進んでいます。顔を合わせて会うという従来のコミュニケーション方法とオンラインの世界がいわば共存しています。このため週1回決まった時間に決まった場所で会合するという従来型モデルだけを続けていたのではロータリーは今日そして明日の世界に即した組織ではなくなり、会員離れが進んでいくリスクがあります。互いに顔を合わせて直に交流することが、確かにインターネットでは得られない価値があるでしょう。しかし、24時間いつでも好きな時に場所を問わず誰でも繋がれるという要素をものは無視することはできません。会員制組織について考慮しなければならないのは会員と組織との関わりを一つだけに絞ってそれを強制することはできないことです。ロータリーにとって入会見込み者とはどのような人たちでしょうか。その人たちは何を欲しているでしょう

卓話



スピーカー 榑原 和久君
演 題 「食と健康」

か。クラブによって空いている職業分類、年齢層、性別などターゲットが多少異なるかもしれませんが。重要なのは、すべての人が同じことをロータリーに求めているわけではなく。世代や性別、職業によって組織とのかかわり方の希望やニーズが違うことも十分あり得るということです。会員の多様性をロータリーが重視するのであれば、組織との関わり方にも多様性が必要ではないでしょうか。ロータリーも会員増強で重視しなければならないのは、会員の満足であり、これには将来の会員も含まれます。若い世代には社会に貢献したい、役立ちたいと願っている人が大勢います。また、環境問題や持続可能な開発、企業の社会的責任といった問題に関心を持つ人もたくさんいます。一方で若い世代は思い立ったらすぐに行動したい、今すぐやりたいと考える傾向があります。若い世代を理解することが重要です。ロータリーが生き残るための3つの「R」を紹介して、長くなりましたが会長の報告とします。

relevance(レレバンス)時代に沿う
reinvent(リインベント)改革する
redefine(リデファイン)再定義する

●幹事報告 幹事 岩部 雅人君

●例会変更 (サイン受付あり)

12月11日 (木) 半田RC	例会変更
12月11日 (木) 大府RC	例会変更
12月15日 (月) 知多RC	例会変更
12月18日 (木) 東知多RC	例会変更
12月19日 (金) 常滑RC	例会変更

委員会報告

●出席委員会

第1664回例会 11月25日(火) 天気(雨)

本日の例会は30名の出席にて、出席率は85.71%です。なお、前々回は8名のメーキャップにて97.14%に訂正します。

●Smiling Box

石川 勝彦君 昨日父の三回忌、母の七回忌を済ませました。一区切りです。

榑原 和久君 本日、卓話を担当させていただきます。よろしくお祈りします。

早退します。 松林 信吾君

合計4名 7,000円



●卓話資料

題名 「食と健康」

太っていたころ

痩せることは簡単なこと

健康的に痩せるには

低カロリー食品

最後に



次回の例会

第1666回例会

12月9日(火) 於 半田商工会議所